



東京生糸高會
設立方法
營業規則

947



414
A1065



東京生糸商會設立方法

第一條

一 本商會ハ東京日本橋區本石町二丁目
番地ニ取建ツヤシ而シテ其名號ハ東京
生糸商會ト稱スベシ

第二條

一 福島縣下福島郡馬縣下前橋神奈川縣下
横濱八王子及ヒ大阪府下大阪ニ支店ヲ
取建ツヤシ而シテ其名號ハ東京生糸商
會支店ト稱スベシ
但營業ノ都合ニ因リ便宜ノ地方ニ支
店又ハ出張所ヲ増置スベシ

第三條

大正十一年四月
農商部寄贈

一 本高會ノ營業年限ハ開業ノ日ヨリ滿五
ケ年タルベシ而シテ尚永續ヲ望ム時ハ
株主中協議ノ上更ニ此業ヲ接續スベシ

第四條

一 本高會ノ資本金ハ三拾萬圓ニシテ一株
ヲ百圓ト定メ之ヲ三十株ト為スベシ
但此資本金ハ株主中協議ノ上漸次増
加スベキモノトス

第五條

一 本高會ノ株主ハ其責任ヲ保証有限ト定
ム故ニ本高會營業上ニ非常ノ損害ヲ受
ケタル場合ニ當リテハ現在所持ノ株高
ニ限り之ヲ負擔シテ報償スベキモノト

ス

第六條

一 本高會ノ株主及ヒ問屋ハ内國人ニ限ル
ベシ

東京生糸商會營業規則

第一條

一 本商會ハ生糸製出ノ繁殖ヲ謀リ其商業ノ便利ヲ開キ現物賣買ノ取引製糸注文ノ約定及製糸資本貸付並ニ生糸抵當貸付又ハ荷為換等ヲ為ス所トス

第二條

一 内國人及外國人共生糸ヲ買ハント欲スル時ハ何銘ノ生糸幾何ヲ要スル旨ヲ本商會ノ本店又ハ支店ニ申出ツテ然レ其店ニテ賣人ニ告示シ之ニ應セシムルヤ而シテ賣人ハ買人ノ所要ニ應スル生糸ヲ取揃ヘ買人ハ其直錢ニ應ス

ル代金ノ高ヲ該店ニ差出タル上検査役
其品格ヲ検査シ検印濟ノ後役負立合ニ
テ其取引ヲ為サシムルニ
但検査役ハ肝煎及ヒ世話役ノ内ニテ
老練ナル者ヲ撰ミ之レニ充ツバシ

第三條

一前條ノ如ク買人アル時ニ當リ其地ニ於
テ賣人無キハ本店ナレバ買人ヨリ手
付金ヲ預リ置キ直チニ其旨ヲ該所安ク
生系ヲ製出スル地方ノ支店ニ報知ス又
支店ナレバ同ジク手付金ヲ預リタル上
之ヲ本店ニ報知ス而シテ本店ヨリ之ヲ
該製出地方ノ支店ニ報知ス然ルハ

該支店ニ於テ直チニ賣人ニ告示シテ生
系ヲ取揃ヘサセ検査濟ノ上荷為換ヲ以
テ之ヲ買人アル店マテ運搬ニ而シテ其
到着ニタル上ニテ取引ヲ為サシムルニ
若シ支店ニ於テ直チニ其取揃ヘ方ヲ為
シ得カレバ報知アリシ時ハ手付金ヲ返
付スルモ又製生注文ヲ為サシムルモ買
人ノ所要ニ任スベシ

第四條

一 生系ヲ賣ラント欲スル人ハ何銘ノ生系
幾何ヲ賣拂ヒ度旨ヲ本高會ノ本店又ハ支
店ニ申出ツヤレ然ルハ本店ナレバ其
銘及ビ箇數ヲ取引場ニ掲示ス又支店ナ

レハ同シク之ヲ其取引場ニ揭示シ且ツ
之ヲ本店ニ通知シテ揭示ヲ為シ以テ買
人ノ便ニ供スベシ而シテ第二條ノ如ク
買人アルハ其趣ヲ賣人ニ告示シ生
糸ヲ差出サシム其手續ハ第二條ノ如ク
ナルベシ
但買人アリテ取引ヲ為シタル時ハ揭
示ヲ止ムベシ

第五條

一 海外ヨリ生糸ヲ注文スル人アリ時ハ何
銘ノ生糸幾個ヲ要スル旨ヲ外國ニ荷為換
ヲ取組ム高社ヲ經テ本商會ノ本店ニ郵
報スヤシ然ル時ハ本商會ハ該所要ノ生

糸ヲ製出スル地方ノ支店ニ報道シ其他
ノ製糸人ヨシテ之レニ應ゼシメ而シテ
其生糸製出ノ上ハ檢印ヲ為シ本商會ノ
荷為換ヲ以テ之ヲ該外國荷為換高社マ
テ運搬スヤシ

但追テ本商會ノ支店ヲ海外ニテ便利
ノ地方ニ設スベシ然ル中ハ外國ヨリ
ノ製糸注文及ヒ荷為換等ヲ其支店ニ
於テ取扱ウヲ得ベシ

第六條

一 内國人及ビ外國人共生糸ヲ注文セント
欲スルハ何銘ノ生糸幾個ヲ要スル旨ヲ
本商會ノ本店又ハ支店ニ申出ツベシ然

ル時ハ本店ナレバ注文人ヨリ手付金ヲ
預リテ注文約定ヲ為サシメタル上直テ
之ヲ該所要ノ生糸ヲ製出スル地方ノ
支店ニ通知ス又支店ナレバ同ジ手付
金ヲ預リテ注文約定ヲ為サシメタル上
本店ニ通知シテ本店ヨリ之ヲ該製出地
方ノ支店ニ通知スヤレ而シテ其報知ヲ
受ケタル支店ハ其旨ヲ製糸人ニ告示シ
テ之レニ應ゼシムヤレ

第七條

一 注文約定ノ生糸製出ノ上ハ請負人ヨリ
之ヲ支店ニ差出スヤレ然ル中ハ支店ニ
於テ検査済ノ上荷為換ヲ以テ其注文ヲ

請ケタル店ニ運搬スヤレ而シテ其到着
シタル上ハ該店ヨリ其旨ヲ注文人ニ告
示シテ取引ヲ為サシムヤレ
但受授ノ手續ハ第二條ニ於ケルカ如
クナルヤレ

第八條

一 買人及ヒ注文人ヨリ預リ置クヤキ手付
金ハ其所要スル生糸代價ノ一割ヨリ少
カラズ二割ヨリ多カラザル高タルヤレ

第九條

一 注文約定ヲ取組ム時ニ當リ製糸人若シ
資本金乏シキノ故ヲ以テ製出ナシ難キ
時ハ本商會ヨリ篤ト其事實ヲ探知セシ

上定式ノ資本金借用証書ニ差入レシメ
其資本ヲ貸レ以テ製出ナサシムバシ而
シテ其償却方ニ於テハ製出シタル生糸
代價ノ内ヨリ之ヲ辨ゼシムバシ

但資本金借用証書ニハ本商會ノ株主
中ニテ保証人二名以上ノ連印ヲ要ス
ベシ

一製糸人若シテ其資本金ニ乏シク已ラ得ズ業
ヲ關クナラバ本商會ヨリ篤ト其事
實ヲ探知セシ後頭取衆議ノ上其資本金
ヲ貸シ以テ營業ナサシムルハアリバシ
然レバ其製出シタル生糸ハ悉皆本商
會ニ於テ取引ヲ為サシメ而シテ其償却

方ニ於テハ該生糸代價ヲ以テ之ヲ辨ヤ
シムバシ旨ヲ記載シ本商會ノ株主中ニテ
保証人二名以上連印シタル定式ノ証書
ヲ差入レシムバシ

第十一條

一製糸人若シテ生糸ヲ為シ得タルモ適當ノ
買人ナキニ窮シ終ニ業ヲ怠ル者アル時
ハ本商會ニ於テ其事情ヲ探知シ頭取及
シ取締役協議ノ上其既製ノ生糸ヲ抵當
トナシメ更ニ資本ヲ貸スナラバ可シ
然ルハ保証人及ヒ償却方等ハ總テ前
條ノ如クナルベシ

第十二條

抵當ノ生糸ヲ預リタル際買人アルハ
本高會ヨリ其旨ヲ荷主ニ告示スベシ而
シテ其取引ヲ為スノ手續キハ第二條ノ如
クナルベシ然ル時ハ其代價ノ内ヨリ前
條ノ負債ヲ償却セシメ而シテ之ヨリ
後ハ借用證書ヲ返還スベシ
但借用金元利及ヒ手数料ヲ納ムルハ
ハ何時モ抵當ノ生糸ヲ返還スベ
シ

第十三條

一本高會ノ賣買ニ於ケル手数料ハ生糸代
價ノ十分ノ一ヲ注文約定ハ十分ノ
一ヨリ雙方ヨリ收受スベシ

第十四條

一本高會ニ於テ執行スル事務ハ此營業規
則及ヒ會則ニ從ヒ之ヲ頭取及ヒ取締役
ニ委任スベシ故ニ頭取及取締役ハ本營
業上ノ一切ヲ確實ナラシムルノ責ニ任ズ
ベシ

右ニ掲ル條々ハ營業上ノ要領ナリ追テ之
ヲ主本ト為シ申合規則ヲ編成スベシ

明治十三年十月



